



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第101号 2021年1月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多様な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

じっと熟成を待ちます



季節の推移が穏やかで、谷戸の雑木林は大量の落ち葉をもたらしてくれました。装いを新たにした堆肥置き場に積み込み、多くの方に喜んでもらえる米や野菜を育てたいです。たくさんのボランティアが集えるよう、年の初めに祈るばかりです。

お知らせ & 谷戸往来

助成金採択「関東・水と緑のネットワーク」関東・水と緑のネットワーク活動

拠点選定証授与式及び活動発表会が、12/13に開催されました。選定証授与式(写真)の後、受賞団体の発表報告会があり、鎌倉中央公園の紹介、山崎・谷戸の会の活動について、また今回の助成金を使って購入したチップパーを活用した堆肥作りの取組について報告しました。報告会では、当会が長年にわたりしっかりと活動をしてきたことを改めて実感しました。(黒川敏史) I found the meeting interesting in two aspects. The first was

learning about the 関東・水と緑のネットワーク organization itself. The second was the seeing the many ways that different organizations in the Kanto area approach maintaining both open land and the animals who live there. I think it would be good for us to continue participating with them in the future. (倉田ブライアン)



「春の七草・どんど焼き」は中止になりました。

秋の谷戸まつり 11/29

炊き出しは行いませんでしたが、保全作業にて収穫した農作物や、作成した農芸品の頒布をしました。コロナ禍での開催でしたが、会員ボランティアスタッフの協力で盛況にて終わることができました。



しめかざり展

「渦巻く知恵 未来の民具 しめかざり展」にて、山崎のお正月飾りが写真展示されました。山崎の海老型は腰が曲がった姿から、長寿の願いが込められています。自分たちで育てた稲藁で、伝承されてきたお正月飾りを作ることができるのは、貴重だと気付かされます。(富田昭子)



自然だより

～ 枯れ草と野鳥 ～

里山が残る山崎の谷戸は野鳥の生息地として貴重です。しかし、公園として開放されている里山では、野鳥の保護を意識した作業が必要です。公園の管理作業、里山の保全作業、生きものの保護、それぞれの違いを意識するとさまざまなことが見えてきて、谷戸に通うのがますます面白くなります。今年はそのような事例を紹介していきたいと思います。枯れ草や落ち葉は、公園の管理では掃除したい、里山の保全では堆肥の材料にしたい、生きものの保護では残したいということになります。ホオジロなどの野鳥は、道端や田畑、湿地の草の実を食べます。雑木林の落葉の下には木の実や小さな虫が隠されているので、ツグミ類などの餌場になっています。枯れ草を刈らない、落ち葉を掃かないことが野鳥によいと思われがちですが、春までそのままでは、植物の発芽が悪くなって、野草や湿地の植物が弱ってきます。野鳥の保護が植物にはよくない面もあるのです。また、落ち葉や枯れ草を堆肥にして田畑に入れ循環させなければ、当会の活動の意義がありません。要は、枯れ草を刈るか刈らないかではなく、作業の進め方なのだと感じます。野鳥は12月から1月にかけて少しずつ草の実を食べていきます。2月になるとほとんど草の実が食べつくされるので、野鳥が最も苦しい季節は2月だということが分かります。それまでは枯れ草が必要なので、実がなくなった枯れ草から順番に、春まで少しずつ刈っていくことで、野鳥と植物の保護が両立します。枯れ草を刈った跡地は、ツグミ、モズ、ムクドリなどの野鳥の餌場として役立つので一石二鳥です。落ち葉かきも、現状では人手不足で、一部の斜面の落ち葉を掃くくらいしかできませんので、大きな影響はないでしょう。公園の管理作業は能率第一の仕事ですが、里山の保全作業は、当会のようなボランティアで楽しみながらゆっくり進められます。生きものを横目で見ながらのんびり作業すると楽しい発見があるのではないのでしょうか。

谷戸の様子

11月は雨が少なく、異様に暖かい日がありましたが、12月9日には氷が張っていました。谷戸には県内でも激減しているカヤネズミが棲んでいます。毎年2回、巣の数を調べています。今年は少なめの年のようですが、谷戸の中の5箇所(5家族?)に生息していると思われました。

体験学習

富士塚小5年・収穫祭

★大根を洗うとき、川で洗っていておどろいた。もっと川はよごれているのかと思ったら、つめたくてキレイだった。



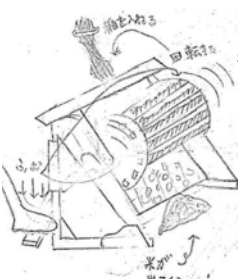
★お米を一生懸命とだりして、友だちとかが「お米めっちゃおいしい～」とかいっぱい言ってくれたのでうれしかったです。



★やとなべのほうは、みそが大根にとってもしみていて、さといもはさっきまで「土の中に入っていた」そんな味がしました。とにかくおいしかった!!!

深沢小5年・脱穀

★おばあちゃんの田んぼだと、機械が稲こぎ(脱穀)をしているので、昔の機械がない時は、こんなに大変なことをしてお米を食べているので、今と昔では工業がかなり発展しているなあと思いました。

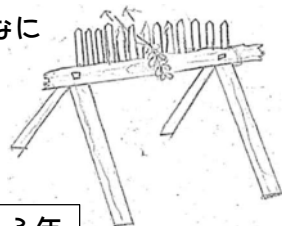


★だっこくするのに、2人で足ぶみをするのが、どっちかが速かったりおそかったりで、リズムが一定にそろっていなかったり、いきがなかなか合わなかったの、そこが一番難しかったです。

教育支援教室ひだまり

カマギリとトカゲとイナゴがいました。スコップで根っこを切るのが大変でした。(小4)

★脱穀はとても大変で、ペダルをふむのも、レバーを回すのもとても疲れました。食べるまでにこんなに大変なことがあるなんて、考えたことなかったです。



玉縄小3年

やんちゃな生徒が数名参加したが、最後まで活動に集中してくれたのでよかった。(教頭先生)

田んぼ班

稲わらは、わら細工やすがいなどに有効利用していますが、今回、俵作りを始めました。俵といっても米俵ではなく、泥を詰める土俵です。この土俵を、最近傷みの目立つ田んぼの畔の修繕に使いたいと思っています。



 土俵作り



 たくわん大根の収穫

畑班

秋の谷戸まつりでの野菜頒布は、盛況の中、みごと完売。天候に恵まれ大収穫だったさつまいも、大根、にんじん、かぶ、どれも喜んでもらえることができてよかった。今年もコロナにめげずに畑作業だ。

雑木林管理班

昨年11月に雑木林を調査し、今シーズン間伐予定の木を選定しました。ナラ枯れ木については、市の公園課の対応方針決定を待っています。毎週、間伐、枝打ちなどを行い、春先には薪も作る計画です。

農芸班

大根を「つ」の字に曲がるまで寒風にさらして天日干し。でんぷんが糖化して、甘味も増し、パリッと歯ごたえある触感が生まれます。谷戸の糠と自然の力を借りて、旨味が凝縮されたたくわんを漬けました。

自然遊び班

谷戸で大根の収穫や落ち葉運びの後、お楽しみのやきいも！働いた後のいもの味は格別でした。子どもたちの感想です。「だいこんをめくときにすこなくなくてビックリシマシタ」

生態系保全班

葉が落ち、木立の間に空間ができるので、鳥の姿が見えやすくなるため、これからは野鳥観察の季節です。双眼鏡を使っでの観察もいいですが、耳で聞いて目で見て双眼鏡で確認。そんな五感を使っでの観察会の始まりです。



 オギ原の手入れ

植物育成班

オギ原の手入れのシーズンです。オギを刈ることで、つる植物などが絡みついた状態を取り除きます。背が高く大変ですが、活動の後はすっきりし、気持ちがいいです。手入れをすることで湿地の花々も元気を取り戻します。

1月

10日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥切り返し ♣
 雑 雑木林の調査・測定 ☆ ♣
 13日(水) 畑 畑の整備
 植 野草生育地の手入れ ♣
 17日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き
 雑 竹の伐採 ☆
 自 里山探検隊「竹細工」
 18日(月) 畑 荒おこし ☆
 24日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き ☆
 畑 じゃがいも畑の耕し ♣
 雑 間伐材整理 ♣
 講座「雑木林の管理」☆
 青空自主保育なかよし会保全活動
 31日(日) 田 粃殻くん炭、苗床耕し ♣
 雑 雑木林の除間伐
 講座「谷戸の野鳥観察」☆

2月

3日(水) 畑 畑の整備
 農 味噌作り ♣
 7日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し ♣
 雑 園内整備 ♣ ☆
 10日(水) 畑 さつまいもの苗床作り ☆
 14日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し
 雑 雑木林の除間伐
 15日(月) 畑 たのくろ豆予定地の耕し
 21日(日) 田 畔直し
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 自 里山探検隊「収穫祭」
 24日(水) 生 カエルの卵の保護作業 ♣
 28日(日) 畑 じゃがいも予定地の畝作り
 雑 雑木林の除間伐

3月

7日(日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 自 父と子の里山体験 ▶
 講座「早春の谷戸散策」☆
 10日(水) 畑 じゃがいもの植え付け ♣
 14日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
 15日(月) 畑 大根の間引き・草取り
 17日(水) 畑 さといも予定地の耕し
 植 早春の植物の生育地の手入れ ♣
 21日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 24日(水) 生 オタマジャクシの保護作業 ♣
 28日(日) 雑 斧で薪割 ♣

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
 ▶ 父と子の里山体験 会員以外の方 参加費 500 円／組
 各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
 (農芸班は、10 時)

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
 農：農芸班 自：自然遊び班
 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10 時～16 時

ホームページ：<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報102号)は、2021年3月に発行予定

